

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成31年2月14日)

- 1 山陰近畿自動車道(鳥取～福部間)計画段階評価に係る第2回アンケート調査等の意見聴取の実施について
【道路企画課】……1ページ
- 2 第5回鳥取西道路技術検討委員会の開催結果について
【道路企画課】……2ページ
- 3 県管理道路沿いにあるブロック塀の2次点検結果について
【道路企画課】……3ページ
- 4 県管理河川の減災対策協議会(第4回)の開催について
【河川課】……4ページ
- 5 枠予算(単県公共事業)の執行状況について
【技術企画課、河川課、治山砂防課、空港港湾課】……5ページ
- 6 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
【技術企画課、道路建設課、河川課】……8ページ

県土整備部



山陰近畿自動車道(鳥取～福部間)計画段階評価に係る 第2回アンケート調査等の意見聴取の実施について

平成31年2月14日
道路企画課

現在、国において計画段階評価中の山陰近畿自動車道(鳥取～福部間)について、社会資本整備審議会道路分科会中国地方小委員会(昨年11月29日開催)で示された3つのルート帯案等に対して、2月1日(金)から第2回目のアンケート調査をはじめとする意見聴取に着手されましたので報告します。

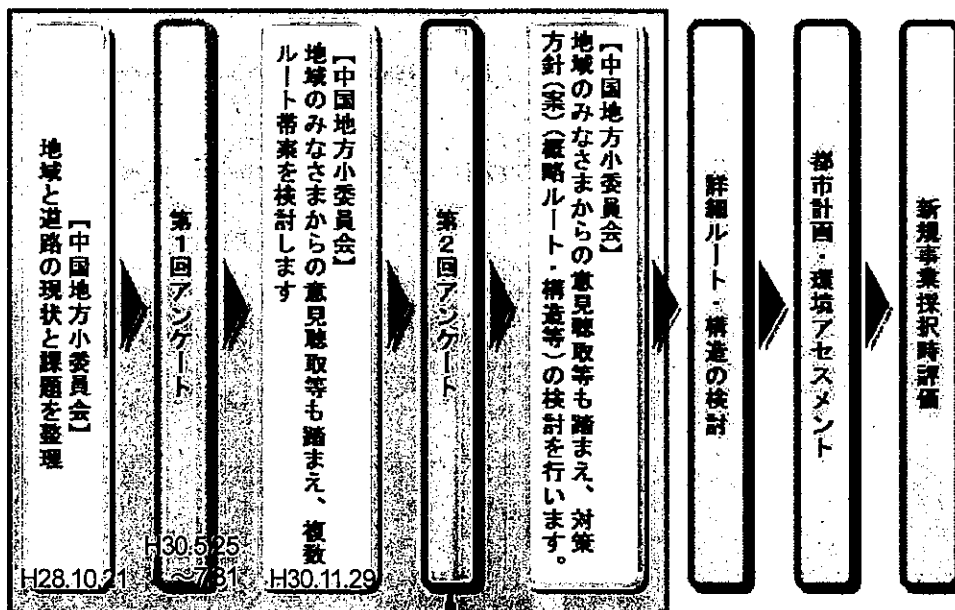
■アンケート調査の実施概要について

- 期 間 平成31年2月1日(金)～3月15日(金)
- 聞取項目 3つのルート帯案を検討する際に重視すべき事項
インターチェンジなど周辺からのアクセスを検討する際に配慮すべき事項
- 聞取方法 道の駅や官公庁等(21箇所)にアンケートボックスを設置
インターネットでの意見募集
旧鳥取市及び旧福部村在住者及び県東部地域の事業所に調査票を郵送配布
(2月中旬頃から)

■その他の意見聴取の概要について

- オープンハウス
2月13日(水)～14日(木):鳥取市駅南庁舎エントランスホール
3月1日(金)～4日(月):イオンモール鳥取北モール棟1階
※オープンハウスとは、道路の改良計画の検討における市民参画型の道路計画の進め方や、検討内容等を写真やイラストを用い、わかりやすく展示・紹介するもの。
- ヒアリング調査
自治体や関係団体、物流・観光事業者等に対するインタビュー形式のヒアリング調査を実施予定(詳細調整中)
- ワークショップ
地域住民や事業者等によるワークショップを開催予定(詳細調整中)

■計画段階評価の今後の予定について



□:計画段階評価の手続き範囲

今回のアンケートはこの段階です

第5回 鳥取西道路技術検討委員会の開催結果について

平成31年2月14日
道路企画課

鳥取西道路〔重山地区〕及び〔松原地区〕における法面変状対策について、第5回「鳥取西道路技術検討委員会」（以下、「委員会」という）が開催され、対策工の実施状況を踏まえ、対策工の検証が行われましたので概要を報告します。

1 開催概要

日時：平成31年1月24日（木）9:30～12:30
場所：現場視察 重山地区
会議 国土交通省鳥取河川国道事務所
出席者：技術検討委員（委員長 藤村鳥取大学名誉教授） 外7名
国土交通省 北瀬鳥取河川国道事務所長 外
協議内容：重山地区 現状について
斜面の変状について
松原地区 現状について

2 委員会の概要

【委員会での意見】

- 法面変状に対するトンネル工やグラウンドアンカーの追加などの対策工を実施したことにより、観測結果から大きな変動はないことから法面の安定性が保たれたことが確認された。
- 7月及び9月の大雨の期間は、工事中であったものの大きな影響もなかった。ただ、今後、雪の懸念があり、3月くらいまでは注意が必要である。
- 今回の法面変状は雪解け水の影響で発生したことから、雪解け水の影響が懸念される。そのため、完成後最低1年程度は観測体制を維持する必要がある。

【各地区の概要】

（1）重山地区（浜村鹿野温泉 IC～青谷 IC間）

1）現状について

- ・H30.9からトンネル掘削に着手し、11月掘削が完了した。
- ・7,9月の豪雨により、アンカーの荷重計の上昇が見られた。また盛土法面が若干変状したため、今後経過観察を行うこととした。
- ・トンネル掘削と法面変状との相関を整理することとした。

2）当初の斜面の変状要因の分析について

- ・法面変状の原因として、複雑な地形、地質による地質的素因及び地下水が集まりやすい地形などの水文素因により、複雑で大きな地すべりが発生したと考えられる。

〈今後の観測について〉

- ・大雨、大雪等の経験が少ないため、法面の計測を継続する。

（2）松原地区（鳥取西 IC～吉岡温泉 IC間）

1）現状について

- ・追加のアンカー施工により、法面の安定が図られていることを確認した。

〈今後の観測について〉

- ・概ね安定した状態と判断できるものの、大雨、大雪等の経験が少ないため、法面の計測を継続する。

3 供用開始に関する国土交通省の見解

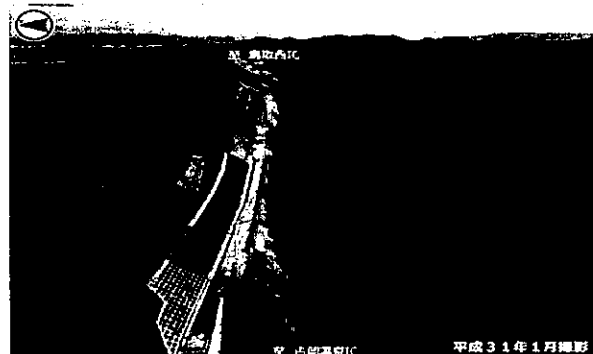
法面の安定性が保たれていることが確認されたことから引き続き工事を進めていく。

今後、天候により工程への影響も考えられるが、平成31年の夏までの早期の供用に努める。

【重山地区】



【松原地区】



県管理道路沿いにあるブロック塀の2次点検結果について

平成 31 年 2 月 14 日
道 路 企 画 課

平成 30 年 6 月 18 日（月）の大阪府北部地震を受け、県管理道路沿いのブロック塀について、平成 30 年 6 月下旬から 7 月上旬にかけて 1 次点検として目視調査を行い、高さが 2.2m を超えるブロック塀や、ひび割れ、破損又は傾斜が生じているブロック塀 107 箇所を抽出したところですが、8 月から 12 月にかけて建築指導部局と合同で詳細な 2 次点検を行い、健全度評価を実施しましたので、その結果を以下のとおり報告します。

1 2 次点検の概要

ブロック塀の形状、損傷状況等について健全性評価を行い、A・B・C・D の 4 種類で判定を行いました。

判 定		所 見	箇所数
健全	A	問題なし	18 箇所
	B	地震時倒壊の可能性は低い、適正な維持管理を求める	19 箇所
要対策	C	地震時に倒壊する恐れあり	21 箇所
	D	危険な状態	49 箇所
計			107 箇所

2 安全対策

D 判定（49 箇所）のブロック塀については、以下の安全対策を実施します。

なお、C 判定（21 箇所）のブロック塀についても所有者に撤去・改修の指導を行います。

区 分	安全対策	箇所数
D 判定のブロック塀		49 箇所
高さ 0.8m 以上のブロック塀	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">所有者に猶予期限を設けて撤去・改修を勧告【建築指導部局】</div> <ul style="list-style-type: none"> ■ブロック塀撤去補助の申請から撤去完了までの時間を考慮 ↓ 猶予期限を超過しても安全対策が講じられない場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">所有者に猶予期限を設けて撤去・改修を命令【建築指導部局】</div> <ul style="list-style-type: none"> ■ブロック塀撤去補助の申請から撤去完了までの時間を考慮 ↓ 猶予期限を超過しても安全対策が講じられない場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">所有者に対して注意喚起用の貼紙設置を依頼【道路部局】</div> <p>↓ 貼紙設置を拒否された場合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">道路区域内にバリケード、ポストコーン等を設置【道路部局】</div>	47 箇所
上記のうち高さ 1.2m※以上かつ、著しい傾き又はぐらつきがあるブロック塀	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">所有者に猶予期限を設けて撤去・改修を勧告【建築指導部局】</div> <p>↓ 猶予期限を設けず速やかに実施</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">道路区域内にバリケード、ポストコーン等を設置【道路部局】</div> <ul style="list-style-type: none"> ■特に倒壊の危険性が高いため、猶予期限を設けず速やかに設置し、道路利用者に注意喚起する 	7 箇所
高さ 0.8m 未満のブロック塀	適正に維持管理するよう所有者に注意喚起	2 箇所

※ 高さ 1.2m 未満のブロック塀については無筋の可能性が高く、一体的に倒壊する恐れが低いと想定されるため

県管理河川の減災対策協議会（第4回）の開催について

平成31年2月14日
河川課

今年度の出水対応や協議会における取組の進捗状況を確認するとともに、「平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会」の結果を報告し、報告書で提示された取組内容を当協議会での取組とし、フォローアップしていくことを確認しました。

1 県管理河川の減災対策協議会（第4回）

【開催日】

平成30年12月25日：天神川圏域

平成31年1月9日：千代川圏域

平成31年1月28日：日野川圏域

【構成員】

〈委員〉市町村長、気象台長、
国土交通省（河川国道事務所長等）、
鳥取県危機管理局長、県土整備部長、
県土整備局（事務所）長、企業局長
〈オブザーバー〉国土交通省中国地方整備局河川部
〈事務局〉鳥取県県土整備部河川課

【開催経過】

平成29年5月：第1回協議会 設立

平成30年2～3月：第2回協議会 アクションプランのとりまとめ

平成30年5～6月：第3回協議会 平成30年度の取組内容の確認

<千代川圏域 第4回協議会>



2 議事

(1) 今年度の出水対応等を報告

・7月豪雨、台風24号の被災状況や応急対応状況の報告 等

(2) 今年度の取組状況の報告

・想定最大規模降雨に係る洪水浸水想定区域の公表
・簡易浸水想定区域（「鳥取方式」洪水浸水リスク図）の公表
・河川監視カメラ、危機管理型水位計の増設 等

(3) 「平成30年7月豪雨を教訓とした安全・避難対策のあり方研究会」の報告書で提示された取組内容を協議会の取組とすることを確認

3 協議会における市町村長等の主な意見

- ・想定最大規模の洪水浸水想定区域図の公表や、簡易浸水想定区域の公表をうけて、ハザードマップの更新や地域防災計画の見直し作業を進めており、浸水深のデータ提供等協力をお願いしたい。
- ・協議会により顔の見える関係が構築されたうえでのホットラインによる情報提供は非常にありがたい。
- ・河床掘削が大きく効果があったと感じており、今後とも河床掘削、立木伐採によりできる限りの河川断面の確保をお願いしたい。また、河川改修による狭窄部の解消の進捗をお願いしたい。
- ・自主防災組織を各集落に設立してもらい、自助・共助を強化していく取組を来年度にかけて検討中である。
- ・危機管理型水位計を各支流にも設置し、情報共有できれば、避難勧告発令の判断等早めの対応が可能になるのではないかと。
- ・河川管理者と水防団との意見交換会は大変意義があった。
- ・ダム下流域で、潮位との関係を含めて浸水範囲等を検討してもらいたい。
- ・日野川河川事務所からの何時間後にどの水位まで上がるという具体的なホットラインがあり、その情報を含めて地元水防団に避難を呼びかけたところ、切迫感が伝わり3割以上が避難した。
- ・ダム下流域の住民から、「水位が上がった原因はダム放流のせいではないか」と誤解した発言があった。ダムの役割などを再周知する必要がある。

4 今後の予定

あり方研究会の報告書で提示された取組について、具体的な実施内容を市町村担当者と調整したうえでアクションプランに反映させ実施していくとともに、本協議会においてスケジュール管理等フォローアップを行っていく。

枠予算（単県公共事業）の執行状況について

平成31年2月14日
県土整備部

県の管理する土木施設について、年度当初に想定していなかった突発的事態に迅速に対応し、必要な調査又は維持・修繕を実施するための枠予算を設定している。
平成30年度における当該枠予算の執行は、次のとおりである。

○事業化検討基礎調査費【現計予算：6,700千円 執行見込額：6,700千円】

技術企画課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
鳥取砂丘コナン 空港及び鳥取港	鳥取市湖山町 ～賀露町	3,700	H30.7.23 ～ H31.3.20	空港グランドオープン後の 両港における来訪者の実 態調査	ツインポートとして両港エリア一体の賑わい創出に向け、 空港グランドオープン直後から、両港において来訪者の ニーズ等の実態を、早急に調査する必要性が生じたため。

未執行額は、今後の突発的事項に対応するため、3,000千円の予算を確保している。

○河川維持修繕費(河川(海岸)緊急修繕費)【現計予算:27,638千円、執行見込額:27,638千円】

河川課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
上地川	鳥取市国府町 荒舟	609	H30.5.16	護岸補修 1箇所	護岸背面が陥没したため、補修を行った。
千代川	鳥取市用瀬町 古用瀬	244	H30.7.20 ～ H30.7.25	流木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
陸上川	岩美町陸上	280	H30.8.10	流木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
赤波川	鳥取市用瀬町 赤波	737	H30.7.20 ～ H30.7.25	流木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
千代川	鳥取市用瀬町 樟原	208	H30.7.20 ～ H30.7.25	流木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
逆川	鳥取市美萩野	487	H30.9.3 ～ H30.9.4	倒木撤去 1箇所	倒木により河積が阻害されたため、倒木撤去を行った。
湖山川	鳥取市長柄	291	H30.7.27	流木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
三山口川	鳥取市高住	112	H30.10.17	流木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
小田川	岩美町小田	105	H30.9.3	倒木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
有富川	鳥取市本高	109	H30.10.9	倒木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
砂見川	鳥取市岩坪	131	H30.10.16	倒木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
日津川	鳥取市福部町 細川	310	H31.1.16	倒木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
千代川	智頭町市瀬	620	H30.7.10 ～ H30.7.11	土砂撤去 1箇所	河川管理道において土砂崩落があったため、土砂撤去を行った。
千代川	智頭町市瀬	458	H30.7.23 ～ H30.7.25	土砂撤去 1箇所	河川管理道において土砂崩落があったため、土砂撤去を行った。
八東川	八頭町徳丸	137	H30.7.20 ～ H30.7.21	護岸補修 1箇所	親水公園でのイベント開催にあたり、護岸の補修を行った。
土師川	智頭町山根	2,072	H30.8.6 ～ H30.8.10	護岸補修 1箇所	護岸背面が吸出しを受け空洞が発生したため、補修を行った。
私都川	八頭町下峰寺	762	H30.8.20 ～ H30.8.24	護岸補修 1箇所	護岸背面が吸出しを受け空洞が発生したため、補修を行った。

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
前川	八頭町石田百井	212	H30.8.1 ～ H30.8.1	土砂撤去 1箇所	土砂堆積により排水樋門のゲート操作が不可能となったため、土砂撤去を行った。
吉川川	若桜町岩屋堂	369	H30.8.17 ～ H30.8.18	護岸補修 1箇所	護岸背面が吸出しを受け空洞が発生したため、補修を行った。
見槻川	八頭町見槻	232	H30.9.1 ～ H30.9.1	護岸補修 1箇所	護岸の一部が破損したため、補修を行った。
大江川	八頭町塩上	180	H30.9.26	法面保護 1箇所	法面が崩落したため、ブルーシートを敷設した。
大江川	八頭町船岡	44	H30.9.13	護岸補修 1箇所	護岸に一部低い箇所があり、浸水害防止として、護岸補修を行った。
八東川	八頭町新興寺	332	H30.9.10 ～ H30.9.11	護岸補修 1箇所	護岸の一部が破損したため、補修を行った。
八東川	八頭町茂田	455	H30.9.11 ～ H30.9.12	護岸補修 1箇所	護岸の一部が破損したため、補修を行った。
土師川	智頭町奥本	165	H30.9.25	護岸補修 1箇所	護岸背面が吸出しを受け空洞が発生したため、補修を行った。
土師川	智頭町慶所	159	H30.9.27	護岸補修 1箇所	護岸背面が吸出しを受け空洞が発生したため、補修を行った。
北股川	智頭町大呂	137	H30.11.12	流木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
吉川川	若桜町吉川	327	H30.12.1	流木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
千代川	智頭町市瀬	546	H30.6.4 ～ H30.6.5	倒木撤去 1箇所	倒木により河積が阻害されたため、倒木撤去を行った。
私都川	八頭町落岩	600	H30.7.11 ～ H30.7.13	大型土のう設置 1箇所	被災した河川護岸保護のために設置していた大型土のうが流失したため、再度設置した。
千代川	智頭町駒場	1,830	H31.2.1 ～ H31.3.20	護岸補修 1箇所	護岸の一部が破損したため、補修を行った。
糸白見川	若桜町糸白見	878	H31.2.1 ～ H31.3.20	護岸補修 1箇所	護岸の一部が破損したため、補修を行った。
由良川	北栄町亀谷	1,000	H30.10.10 ～ H30.11.30	護岸補修 1箇所	護岸の一部が崩壊したため、応急対策(袋詰め玉石)を行った。
東郷池	湯梨浜町松崎	50	H30.11.2 ～ H30.11.7	護岸補修 1箇所	護岸背面が吸出しを受け空洞が発生したため、補修を行った。
加谷川	三朝町穴鴨	50	H30.11.10 ～ H30.11.22	護岸補修 1箇所	護岸の一部が破損したため、補修を行った。
川上川	湯梨浜町高辻	100	H30.11.19 ～ H30.11.26	管理道補修 1箇所	河川管理道の路肩が崩落したため、補修を行った。
茅町川	琴浦町笠見	300	H30.11.19 ～ H30.11.26	管理道補修 1箇所	河川管理道の路面が陥没したため、補修を行った。
舎人川	湯梨浜町方地	1,000	H30.12.10 ～ H30.12.11	大型土のう設置 1箇所	護岸の一部が崩壊したため、応急対策(大型土のう)を行った。
橋津川	湯梨浜町長瀬	2,000	H30.12.21 ～ H31.1.15	堤防補修 1箇所	堤防が吸出しを受け空洞が発生したため、補修を行った。
旧加茂川	米子市灘町 ～立町	2,500	H30.10.3 ～ H31.3.15	流木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
甲川	大山町羽田井	400	H30.6.2	管理道補修 1箇所	河川管理道の路面が陥没したため、補修を行った。
三谷川	大山町羽田井	500	H30.11.6 ～ H30.11.7	倒木撤去 1箇所	倒木により河川管理道が通行できないため、倒木撤去を行った。

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
後谷川	大山町羽田井	600	H30.11.8 ～ H30.11.10	流木撤去 1箇所	流木により河積が阻害されたため、流木撤去を行った。
野上川	伯耆町福島	500	H30.9.10 ～ H30.9.11	管理道補修 1箇所	河川管理道の路面が陥没したため、補修を行った。
佐木谷川	日南町福寿実	2,000	H30.4.9 ～ H30.5.7	護岸補修 1箇所	護岸の一部が破損したため、補修を行った。
日野川	日野町黒坂	500	H30.10.4 ～ H30.12.20	管理道補修 1箇所	河川管理道の路面が破損したため、補修を行った。
小川尻川	日野町榎下	2,000	H31.1.15 ～ H31.2.8	護岸補修 1箇所	護岸の一部が破損したため、補修を行った。

○砂防施設緊急修繕費【現計予算額：3,200千円 執行見込額：2,198千円】

治山砂防課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
篠波川	八頭町篠波	999	H30.8.1 ～ H30.8.22	大型土のう設置 1箇所	護岸崩壊が発生し、さらなる浸食防止のため大型土のう設置を行った。
松河原地区	倉吉市関金町 松河原	524	H30.12.3 ～ H30.12.3	法面工 A=70㎡	豪雨により法面の一部が崩れ、放置すると宅地への被害の恐れがあるため、法面工を行った。
公文地区	琴浦町公文	449	H30.12.4 ～ H30.12.6	法面工 A=25㎡	豪雨により法面の一部が崩れ、放置すると宅地への被害の恐れがあるため、法面工を行った。
一ツ屋地区	琴浦町倉坂	226	H30.12.7 ～ H30.12.7	仮設防護柵設置 1箇所	豪雨により既存施設が破損したため、応急対策を行った。

○治山施設緊急修繕費【現計予算額：1,500千円 執行見込額：1,499千円】

治山砂防課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
岩戸地区	鳥取市福部町 岩戸	959	H30.7.23 ～ H30.7.26	土砂撤去 1式 大型土のう設置 1箇所 ブルーシート張 1式	豪雨により既存施設が破損したため、応急対策を行った。
大畑地区	鳥取市大畑	540	H31.1.17 ～ H31.1.31	土砂撤去 1式 大型土のう設置 1箇所 ブルーシート張 1式	豪雨により既存施設が破損したため、応急対策を行った。

○漁港施設緊急維持修繕費【現計予算額：1,600千円 執行見込額：1,000千円】

空港港漁課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
網代漁港	岩美郡岩美町 網代	1,000	H30.8.1 ～ H30.8.10	東屋コンクリート片除去 1式	網代漁港大谷海岸の東屋の屋根(庇)から老朽化によりコンクリート片が落下したため、応急的にクランク等のある危険なコンクリート片をはつり除去した。

○港湾施設緊急維持修繕費【現計予算額：3,000千円 執行見込額：3,000千円】

空港港漁課

地区(路線)名	事業箇所	執行見込額 (千円)	工期	事業概要	緊急対応を要した理由
逢坂港	大山町岡地先	3,000	H31.2.1 ～ H31.3.25	泊地浚渫 V=1,000m ³	逢坂港において、物揚場前面の泊地(-2.5m)へ砂が堆積し水深不足で船が接岸できないことから緊急的に浚渫を実施した。

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

果土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	入札方式
技術企画課 八頭県土 整備事務所	千代川外災害復旧工事(30 年災107号、108号及び35 4号外)	八頭郡 智頭町 中原	こおげ建設株式会社 代表取締役 山根 敏樹	185,004,000円 (予定価格) 199,974,960円	平成31年1月23日 ～ 平成32年2月28日	平成31年1月23日	制限付 一般競争入札 (3社)
技術企画課 八頭県土 整備事務所	横瀬川河川災害関連工事 (30年災134号及び135 号)	八頭郡 智頭町 中原	吉田建設株式会社 代表取締役 吉田 友和	153,900,000円 (予定価格) 154,703,520円	平成31年1月25日 ～ 平成32年2月17日	平成31年1月25日	制限付 一般競争入札 (4社)
技術企画課 西部総合事務所 日野振興センター 日野県土整備局	石見川河川災害復旧工事 (30年災451号)(本工事)	日野郡 日南町 下石見	サワタ建設株式会社 代表取締役 溝田 信介	99,900,000円 (予定価格) 107,684,640円	平成31年1月25日 ～ 平成31年9月18日	平成31年1月25日	制限付 一般競争入札 (3社)
道路建設課	街路蔭津和田町線橋梁上部 工事(A1-P3)(防災安全交 付金)	米子市 和田町	街路蔭津和田町線橋梁上部工事(A 1-P3)日本ビエス・美保テクノス 特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社日本ビエス鳥取営業所 所長 石井 和正	400,788,000円 (予定価格) 445,384,440円	平成31年1月 4日 ～ 平成32年2月18日	平成31年1月4日	制限付 一般競争入札 (3社)
道路建設課	街路蔭津和田町線橋梁上部 工事(P3-A2)(防災安全交 付金)	米子市 和田町	街路蔭津和田町線橋梁上部工事(P 3-A2)(防災安全交付金)ビエス 三菱・馬野建設特定建設工事共同企 業体 代表者 株式会社ビエス三菱鳥取営業所 所長 水野 敏郎	221,400,000円 (予定価格) 221,833,080円	平成31年1月 7日 ～ 平成31年11月25日	平成31年1月7日	制限付 一般競争入札 (4社)
河川課	大路川広域河川改修工事 (倉田排水機場)(2工区)	鳥取市 国安 ～ 八坂	株式会社日立製作所 中国支社 支社長 渡辺 弘之	282,204,000円 (予定価格) 313,649,280円	平成31年1月 4日 ～ 平成32年 3月13日	平成31年1月4日	制限付 一般競争入札 (9社)

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
道路建設課	国道178号(岩美道路)橋梁下部工事(2工区)(補助)(経済対策)	岩美郡 岩美町 浦富	国道178号(岩美道路)橋梁下部工事(2工区)(補助)(経済対策)大晃工業・プロテクト特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社大晃工業 代表取締役 高田 重利	(当初契約額) 222,480,000円 (第1回変更後契約額) 227,201,760円 (変更額) 〔 4,721,760円 〕	平成30年4月3日 ～ 平成31年2月11日 (変更後工期) 平成31年3月15日	(当初契約年月日) 平成30年4月3日 (第1回変更契約年月日) 平成31年1月23日	- ・本工事で仮置き、後年度工事で処分する予定であった残土を、直接搬出・処分することによる運搬費の増。 ・鋼管杭の全国的な需要により、鋼管の調達期間が想定より長く必要であったことによる工期延伸。
道路建設課	国道178号(岩美道路)橋梁下部工事(1工区)(補助)(経済対策)	岩美郡 岩美町 浦富	国道178号(岩美道路)橋梁下部工事(1工区)(補助)(経済対策)大晃工業・プロテクト特定建設工事共同企業体 代表者 株式会社大晃工業 代表取締役 高田 重利	(当初契約額) 203,904,000円 (第1回変更後契約額) 205,536,960円 (変更額) 〔 1,632,960円 〕	平成30年4月10日 ～ 平成31年2月18日 (変更後工期) 平成31年3月25日	(当初契約年月日) 平成30年4月10日 (第1回変更契約年月日) 平成31年1月30日	- ・本工事で仮置き、後年度工事で処分する予定であった残土を、直接搬出・処分することによる運搬費の増。 ・鋼管杭の全国的な需要により、鋼管の調達期間が想定より長く必要であったことによる工期延伸。
道路建設課 (西部総合事務所 日野振興センター 日野県土整備局)	県道横田多里線(上萩山2工区)道路改良工事(その3)(交付金改良)(経済対策)	日野郡 日南町 上萩山	株式会社かわばた 代表取締役 川端 雄勇	(当初契約額) 182,628,000円 (第1回変更後契約額) 188,111,160円 (変更額) 〔 5,483,160円 〕	平成30年3月28日 ～ 平成30年12月7日 (変更後工期) 平成31年1月31日	(当初契約年月日) 平成30年3月28日 (第1回変更契約年月日) 平成30年12月6日	- ・補強土壁の盛土材料として流用を予定していた他工事発生土の土質が悪く、別工事の良質な仮置土を運搬・盛土したことによる工事費の増。 ・上記の調整に期間を要したことによる工期延伸。
				(第2回変更後契約額) 188,728,920円 (変更額) 〔 617,760円 〕		(第2回変更契約年月日) 平成31年1月30日	現地形との取り付け部で、擁壁工や舗装工の数量が増えたことによる。

【変更分】

県土整備部

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	変更理由
河川課 鳥取県土 整備事務所	麩谷川河川改修工事(橋りよ う下部工)	鳥取市 青谷町 善田	やまこう建設株式会社 代表取締役 岡田 幸一郎	(当初契約額) 158,868,000円 (第1回変更後契約額) 161,342,280円 { (変更額) 2,474,280円 }	平成30年3月26日 ~ 平成31年1月15日 (変更後工期) 平成31年3月22日	(当初契約年月日) 平成30年3月26日 (第1回変更契約年月日) 平成31年1月15日	- ・橋台の基礎杭打設にあたり、一部の杭が地中構造物と干渉することが判明したため、杭の配置を再検討する必要があるが生じた。 ・上記の検討に日数を要したことによる工期延伸。 ・杭掘削残土について、搬出先の受け入れ条件を満足するため石灰改良を行ったことによる工事費の増。